

# 書道家の千葉清藍さんと大文字書道に挑戦!

## コロナ禍で感じた大切なものを2021年の希望へ

新宿西戸山中学校と新宿中学校の書道部の生徒が、2020年を振り返って湧き出した決意を形にしようと、大文字書道を制作します。制作には吉住健一新宿区長も参加。書道家の千葉清藍さんのアドバイスのもと、自由な発想で大胆に表現しました。

みんなにメッセージが届くように!

緊張するけれど頑張ります

心を込めて力強く書くぞ!



新宿西戸山中学校2年 人見陽向さん 田中真輝さん 金ハナルさん

大文字書道にご協力いただいた書道家・千葉清藍さん



福島県を拠点に制作活動を行う書道家、県内全59市町村を巡る「書道の旅」の途中で東日本大震災が発生したことを契機に、被災した方の仮設住宅を訪ねてワークショップを開催しているほか、書の魅力を世界中に伝えるため海外での活動も行っている。

また、新宿区のアートイベント「新宿クリエイターズフェスタ」に平成29年～令和元年に参加。作品展示のほか、大文字書道パフォーマンスも披露した。

## 1. 2020年を振り返る

新型コロナ感染拡大による長期間の休校で感じたことなどを語り合い、コロナ禍での体験を共有して、大文字書道のイメージを膨らませます。

生徒たちは、「勉強が遅れてしまうのでは…」「仲間と触れ合う機会が少なく残念だった」など、学校での勉強や友達と会って話すことの大切さをより強く感じたといいます。



新宿西戸山中学校2年生の皆さん



新宿中学校1年生の皆さんと区長

一方で、家族との会話が増えたり、趣味に打ち込めたりしたのは、家にいる時間が長かったからこそ。自ら進んで勉強をしたり、家族のために料理に挑戦したりと、普段とは違うことに取り組んだことで、自分と向き合い、新しい目標を見つけることにもつながったようです。

最初は緊張した様子の生徒たちも、同じ書道仲間ということもあり、だんだんと打ち解け、他の生徒の体験に感心する場面もみられました。

## 2. 2021年を表現する文字を選ぶ

今回の経験から、2021年の目標を聞くと、「勉強に一生懸命取り組みたい」「友達との仲をより深めたい」「苦手なことにもチャレンジしたい」と前向きな回答がぞくぞく。

「2021年は明るい年にしたい」と、中央に大きく「夢」と書くことを決定。周りにはそれぞれが表現したい気持ちや決意を添えます。

休校中にパソコンを自分で製作するなど、普段はできないことに挑戦した飯田さんは「創意工夫」を、周囲との関わりの大切さを感じた田中さんは「一期一会」を、家族との時間のかけがえのなさに未来を見出した金ハナルさんは「未来」を、オンラインで友達との関わり方を工夫した金元洪さんは「ピンチをチャンスに」を選び、人見さんは、自分で勉強する体験を通して日々絶えず進歩するさまを「日進月歩」という表現につなげました。どの言葉にも自分の経験に基づいたメッセージが込められています。

生徒の話聞く中で吉住区長は「結果を恐れずに前に進もう」という意味を込めて、「一往直前」と書くことに決め、全員で大文字書道への意気込みを高めました。



下書きが完成!

## 3. 字も色も自分らしい文字で書き上げる

各自で使いたい色を調合し、いよいよ書き始めます。新宿中学校の2人は大文字書道に初挑戦、新宿西戸山中学校の3人は色を使った大文字書道は初めての経験です。筆を下ろす瞬間は、緊張感の中、集中している様子が伝わります。清藍さんが筆遣いや字のバランスなどをそれぞれにアドバイスすると、生徒からは「我ながらうまく書けた」と、満足げな声も聞こえてきました。



はじめは金の日輪から



大文字の「夢」はみんなの心をひとつに



集中!



区長も一筆



## 4. 気持ちを込めた大文字書道が完成!

生徒たちは力を出し切り、それぞれの思いを個性豊かに表現しました。吉住区長は「つらい経験をしたけれど、今年は「夢」を持とうという皆さんのメッセージが込められた素晴らしい芸術作品ですね」と生徒たちに語りかけました。みんなの達成感あふれる表情が印象的です。



みんなで前を向いて進みましょう!

できた!

みんな丁寧に書いてくれました。躍動感が出ていますね

清藍さんのアドバイスでうまく書けました

明るい気持ちになる色を選んだよ!

新宿中学校1年 金元洪さん 飯田凜太郎さん

作品は、2月7日(日)まで新宿コスミックセンター(大久保3-1-2)に展示しています。